

# 村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場対策 についての県からのお知らせ 令和8年4月号

令和8年4月1日  
宮 城 県

発行：竹の内産廃処分場対策室  
電話：022-211-2691

## 1 発生ガス調査の結果（令和8年2月）について

『処分場の内部で発生するガス』の調査結果であり、処分場内部が安定化しているかの目安になります

処分場の状況を把握するため、毎月、場内の観測井戸で、発生するガスの硫化水素等の濃度の調査を実施しています。令和8年2月の調査結果は次のとおりで、これまでの変動の範囲内でした。

- (1) 調査日 令和8年2月10日（火）
- (2) 調査地点 17地点
- (3) 調査結果



調査年月日：令和8年2月10日（気圧：1,026hPa）

調査項目		浸透水観測井戸									
		地点名									
発生ガス	硫化水素 (ppm)	No.3	No.3a	No.3b	No.5	No.5a	No.5b	H16-3	H16-5		
	二酸化炭素 (%)	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満		
	酸素 (%)	0.4	0.3	0.7	9.9	4.7	4	1.2	1.7		
	メタン (%)	16	21	18	6未満	13	14	16	16		
	発生ガス量 (L/min)	20	0	8	0	0	0	23	14		
		H16-6	H16-10	H16-11	H16-13	H17-15	H26-3a	H26-3b	7-2	7-4	
発生ガス	硫化水素 (ppm)	0.04	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満		
	二酸化炭素 (%)	6.8	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	4.0	
	酸素 (%)	1.5	0.25未満	1.1	1.7	0.3	0.25未満	0.25未満	0.3	5.3	
	メタン (%)	6未満	20	19	16	21	21	22	21	8	
	発生ガス量 (L/min)	20	7	0	16	8	0	0	0	22	
		0.60	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満	0.01未満

※ 表中の硫化水素等の発生ガスの濃度は、ボーリング孔の管頭下1mでの値です。  
 ※ 地点名7-2、7-4、H16-10、H16-11、No.3a、No.3b、No.5a、No.5bでは、発生したガスを活性炭塔で吸着処理しています。処理後の硫化水素濃度はいずれも0.2ppm未満でした。  
 なお、掲載している発生ガスの数値は、処理を行う前のデータです。

## 2 硫化水素モニタリング結果（令和8年2月）について

『処分場等から発生する硫化水素』の調査結果であり、皆様を感じる悪臭の目安になります

処分場内で発生した硫化水素ガスの状況を24時間連続で調査したところ、敷地境界で硫化水素は検出されませんでした。調査結果の詳細は次のとおりです。

(1) 測定期間

令和8年2月 1日（日）から  
令和8年2月28日（土）まで

(2) 測定地点

- ① 測定地点1 発生ガス処理施設付近
- ② 測定地点2 村田第二中学校



(3) 測定結果

	硫化水素の最大濃度 (ppm)	認知閾値濃度* <sup>1</sup> 超過回数 (回)	規制基準濃度* <sup>2</sup> 超過回数 (回)	全測定回数* <sup>3</sup> (回)
測定地点1	0	0	0	80,091
測定地点2	0	0	0	80,556

\*1 認知閾値濃度：硫化水素のにおいであることがわかる弱いにおい(0.006ppm)

\*2 規制基準濃度：悪臭防止法を準用した場合に硫化水素の規制基準として示される濃度範囲のうち最も低い濃度(0.02ppm)

\*3 全測定回数：機器点検等による欠測を除いた全測定回数

## 3 令和8年4月の環境調査等について

今月は次のとおり環境調査や巡回点検を実施する予定です。

- 発生ガス調査（毎月）
  - ・・・観測井戸からのガスの量や硫化水素濃度等の調査
- 巡回点検（毎週）
  - ・・・処分場の覆土や設備等の維持管理及び点検